

令和四年度 駒澤大学仏教学会

公開講演会

日時 一月二十六日(木) 午後四時二十分より

場所 駒澤大学 中央講堂

オンライン Google Meetも同時配信

小田勝先生 (國學院大學教授)

文語文を正確に読むために必要なこと

— 仏教説話における「提示句」を例に —

現代日本語で「だけ」と「ばかり」は、「男の子ばかり／山田太郎君だけがいる」のように限定を表すが、「×山田太郎君ばかりがいる」とは言えない。「だけ」と「ばかり」は何が違うのだろうか。そして、この限定の用法の差は、古典語ではどのように現れるのだろうか。本講演では、文語文法研究の面白さをお話するとともに、仏教説話における特殊な句の連続を一例にして、文語文を正確に読むために必要な視点についてお話する。

